

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

ギリギリの要求を勝ち取ろう 生活がかかった春闘だ!

10年春闘は、賃金体系の維持と時間外割増率の引き上げ、一時金は半期2・25ヶ月を中心とした要求で、3月17日に回答指定日を迎えようとしています。

ギリギリの要求だ

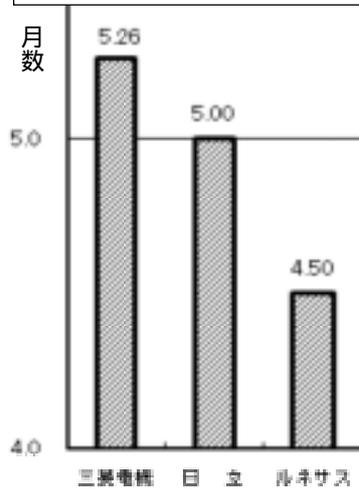
今年の要求は、ベースアップを見送り「賃金体系の維持」を求めたものであり、制度的には「人件費負担増」につながる内容ではあ

りません。時間外労働の割増率の引き上げも一ヶ月40時間を超える分であり、労働対価としては当然過ぎる内容です。

一時金要求でも、年間4・5ヶ月に見合うものとしていますが、下記グラフでも明らかのように、

転籍前の三菱電機・日立と比較しても大幅な労働条件の低下となっています。

年間一時金の要求



粘り強く闘おう!

電機連合は3月1日、各労組が経営側との交渉状況を報告する「中央闘争委員会」を開催し、今春の労使交渉で「賃金体系の維持、年間一時金で4ヶ月分の確保、時間外労働賃金の割増率改善」などを強く要求する方針を決めました。

これは、経営側が要求に難色を示しているため、妥結に向け要求点を再確認したとされています。

ルネサスの場合は、一時金闘争が年間でないため12月分を今秋に交渉することになっており、この春闘での取り組みが重要になっていきます。

集積回路

*2月6日付「日経」は次の内容を報道しました。電機大手9社の09年10～12月期決算では、本業のも

うけを示す営業損益は8社が黒字を確保した。9社合計の営業利益は7ヶ月期比2・8倍。10年3月期の予想営業利益は合わせて6400億円と前回予想から1150億円の上修正となり、計1229億円の営業損失だった09年3月期からの回復傾向が鮮明になった。薄型テレビ以外にも、中国などの需要が拡大した効果は大きい。日立製作所は不振が続いた自動車用機器が10～12月期に部門黒字に浮上。「固定費を圧縮したところに、新興国を中心に自動車機器の需要が回復した」(三好崇司副社長)。
*こうした時に、給与所得の減収傾向の流れを変えていく事が重要です。

転換期の半導体ビジネス

日経は「転換期の半導体ビジネス」と題する連載を2月23日から25日で行いましたので、関係するポイントを紹介し

ます。その中で下表の「ランキング」も掲載し、ルネサスエレクトロニクスについても「新会社の強みは世界シェア1位のマイコンと同4位の特定用途向けLSIだ」と分析。さらに「4月1日からの100日間で事業戦略をまとめる。何を捨て、何で勝負するのか。その選択に新会社の浮沈がかかる」とも指摘しています。

世界の半導体売上高ランキング

順位	企業名	売上高	増減率
1	インテル(米)	32,095	5.0
2	サムスン電子(韓国)	17,123	1.3
3	東芝	10,640	4.0
4	(ルネサス)+(NECエ)	10,067	21.6
5	テキサス・インスツルメンツ(米)	9,612	13.2

単位:百万ドル、カッコ内は前年比増減率%、は減米アイサプライスが発表した09年暫定速報値で作成

2月24日付「日経」より

職場新聞 関心高まる

職場新聞「むさしNet」への関心が高まっています。

とりわけ、昨年の「NECエレクトロニクス」との会社統合が発表されて以降、WEB掲載のコンテンツへのアクセスがグラフの様に急増しています。(9月と10月分は、集計ソフト不良により集計できず)

同時アンケートも実施

NECエレの仲間と共同して

1月の世界半導体売上高、前年同月比で大幅増 前年同月比では47.2%もの伸び

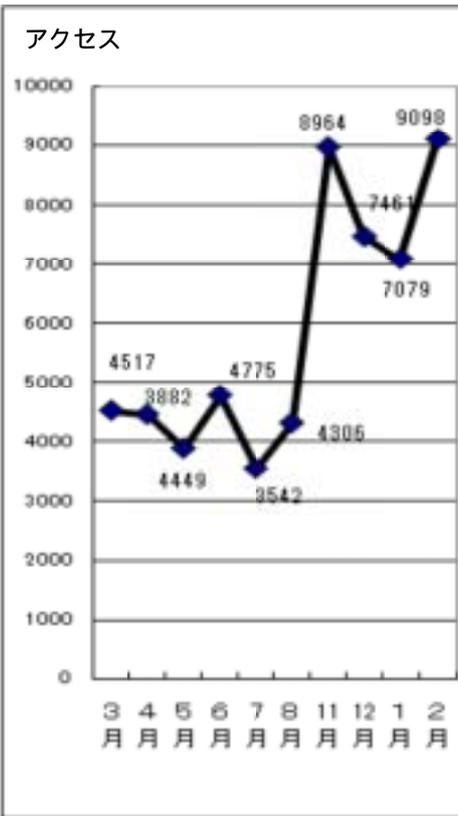
2010年1月の世界半導体売上高は、前月比では微増にとどまった。しかし、前年同月比では大幅に増加したことが、米国の半導体業界団体Semiconductor Industry Association(SIA)が3月1日に発表した報告書で明らかになった。

SIAの報告書によると、2010年1月の世界半導体売上高は225億ドル。前月比では0.3%増だったが、前年同月比では47.2%もの伸びを示した。

一方、米国の市場調査会社iSuppliは3月1日、2010年第1四半期の世界半導体売上高が、前年同月比で「目覚ましい成長を記録する」との見通しを示した。iSuppliのアナリストは、第1四半期の世界半導体売上高の前年同期比伸び率を48.5%と予想している。

(SIA調査・WEBニュースより)

「同時アンケート」の実施と結果の報告を行っています。



さらに、労働条件や、組合比較・春闘要求内容の比較などを、http://www.elicnec.com/en/enesas/el_enesas_top.htmlに掲載しています。(A)

4月1日に新会社 労組の取り組みを

4月1日の企業統合後の組合の組織などについて「1社2労組体制」を構築し運営するとなっています。

現組合員については、ルネサス労組と新会社間の労働協約が適用されるとしています。

今後については、両労組の組織・風土や運営に違いがあり、組合統合に向けては、検討・準備期間が一定程度必要であるとされています。

徹底した事実の公表を基にした検討を期待しています。(B)

休憩室

第一生命発表の「サラリーマン川柳」から紹介します。

節約と

人には言わず

エコと言う

さあ定年

妻が差し出す

求人誌

リストラは

どこにいるのと

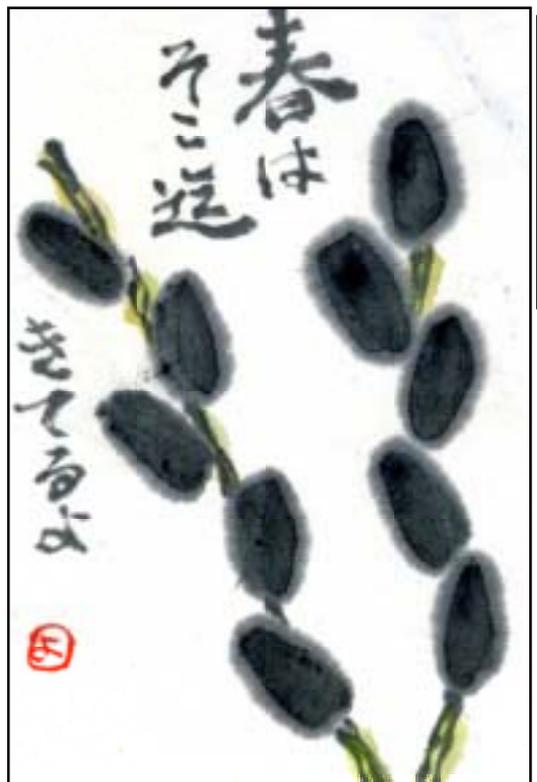
孫が聞く

膏薬(公約)は

ツボを外して

効き目なし

絵手紙でご挨拶



編集後記

「むさしNet」に対するご協力ありがとうございます。門前・社宅・職場からの励ましに感謝しています。職場では、3月から発足したルネサス武蔵ESを始め4月に設立される新会社での労働条件や労組の統一なども大きな課題となって来ます。今後も、職場新聞やWEB掲載などで皆さんの関心ごとに応えられる様に取組んで行きます。引き続きご協力・ご支援をお願いします。(T)